

2026 年度「生活者包装研究懇談会」のご案内

(公社)日本包装技術協会 関西支部

下記により、今年度の標記懇談会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

開催要領

- 期 間：2026年10月～2026年12月
- 対 象：食品・医薬品など生活者包装関係者・包装技術関係者
- 定 員：35名（1社につき1名様のお申込みとさせていただきます）
- 参加費：JPI会員 35,200円（消費税10%・例会3回分を含む）
一 般 47,850円（消費税10%・例会3回分を含む）
- 進め方：全3例会を開催し（内1回は見学会）、例会ごとに出欠をお取りします。
代理出席は可能ですが、追加出席はお受けできません。※但し個人会員は代理出席不可
例会終了後に情報交換会を開催し（見学会は除く）、講師やメンバー間の交流を図ります。
参加費は例会3回分となりますので、欠席されてもご返金はいたしかねます。

「生活者包装研究懇談会」実行委員

〈社名五十音順〉

〈敬称略〉

大塚製薬(株)	薬事部ラベリング室・薬事シニアエキスパート	伊 藤 祐 一
サンスター(株)	生産統括部 パッケージ部 商品化グループ	徳 岡 誠 司
大日本印刷(株)	Life デザイン事業部 事業企画本部 事業推進部部長	西 村 洋 明
TOPPAN(株)	生活・産業BU 製造・技術統括本部 SXパッケージ開発本部 西日本開発部 プロセス開発チーム課長	矢 島 俊 輔
マルホ(株)	プロダクトサプライ部 生産戦略グループマネージャー	逸 崎 工
三笠産業(株)	営業本部事業推進部 シニアアドバイザー	遠 藤 明 子
UCC上島珈琲(株)	R&D本部 容器・資材開発部部長	辻 琢 也
ユニチカ(株)	フィルム事業部 包装フィルム統括営業部 市場開発グループ	松 本 真 実

申込み方法

- 当協会関西支部のホームページよりお申込みください。
<https://www.jpi.or.jp/shibu/kansai/index.html>
- 申込受付後、請求書・第1回例会の案内・出欠票をメール添付でお送りいたします。
- 申込締切日は10月9日(金)とさせていただきます。※定員になり次第、締め切らせていただきます。

事務局

(公社)日本包装技術協会 関西支部 多林 tabayashi@jpi.or.jp ・ 吉野 kpi@jpi.or.jp
〒550-0014 大阪市西区北堀江 1-1-27 イマイビル 4 階 TEL 06-6532-1189

例 会 内 容

第1回例会《講演会》《情報交換会》

(敬称略)

- と き 2026年10月27日(火) 13:30~17:30
ところ ハートンホテル北梅田(=大阪市北区豊崎 3-12-10)
内 容 ①「使用済みマヨネーズボトル・油付きPET容器の資源循環と社会実装へのアプローチ」
キューピー(株) 研究開発本部 食創造研究所 設計開発推進部 守 矢 大 介
包材開発チームリーダー
(コーディネータ) サンスター(株) 徳 岡 誠 司
②「医療現場における医薬品包装の課題」
東京理科大学薬学部 客員教授 上 村 直 樹
(株)ファーマック 富士見台調剤薬局 代表取締役
(コーディネータ) 大塚製薬(株) 伊 藤 祐 一
③情報交換会

第2回例会《見学会》

- と き 2026年11月19日(木) 8:45~17:00頃(移動時間含む)
見学先 中外医薬生産(株) みどりヶ丘工場 および チョーヤ梅酒(株) 伊賀上野工場
行 程 8:45~10:30 「天王寺駅」集合／バス移動(国際興業バス)
(予定) 10:30~12:00 中外医薬生産(株) みどりヶ丘工場 見学
中外医薬生産(株)は医薬品の受託製造を行っており、みどりヶ丘工場ではドリンク剤の製造設備を備えている。今回は充填、殺菌、ラベリング、カートニング、段ボールケーサ、パレタイザーまで自動化された一連の工程を見学させていただく。
12:00~13:30 バス移動／昼食休憩
13:30~15:30 チョーヤ梅酒(株) 伊賀上野工場 見学
梅酒造りのパイオニア「チョーヤ梅酒(株)」は、梅と砂糖、お酒だけの本格梅酒を梅文化とともに世界中に発信している。今回は梅酒貯蔵タンクでの熟成の様子や梅酒の瓶詰・検品・包装・箱詰めの一連の工程を見学させていただく。
15:30~17:00 バス移動／「天王寺駅」周辺解散

※バスの手配/実施:(株)エー.エイチ.エヌ【大阪府知事登録旅行業第3-1510号】旅行業務取扱管理者:坂本直輝/大村洋人

第3回例会《講演会》《情報交換会》

(敬称略)

- と き 2026年12月9日(水) 13:30~17:30
ところ ハートンホテル北梅田(=大阪市北区豊崎 3-12-10)
内 容 ①「味の素(株)における包装技術視点で見た使いやすさの追求」
味の素(株) 食品事業本部 食品研究所 コンシューマーフーズ開発センター 小 林 義 浩
包装設計グループ
(コーディネータ) 大日本印刷(株) 西 村 洋 明
②「その包装、本当に必要ですか?~医療現場から考える包装の価値~」
京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 特命教授 四 方 敬 介
(コーディネータ) マルホ(株) 逸 崎 工
③情報交換会

お 断 り

- やむを得ず、日程やテーマ等を変更させていただく場合があります。ご了承ください。
- 例会当日は、出席者名簿を配布させていただきます。第三者への譲渡はお控えください。
- 個人情報の取扱いについて

個人情報は、当事業に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催する各事業のサービス提供やご案内等のために利用させていただきます。参加申込により、ご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。